

医療
見えない



中央滅菌室

兵庫医科大学病院において、年間1万1,000件を超える手術を陰ながらサポートしているのが「中央滅菌室」だ。手術センターの1フロア上に位置し、7:30から23:00までの間、手術や検査、処置で使用する医療器具の洗浄・消毒・乾燥・滅菌・供給などを行っている。1日に滅菌する器具の数は1,000以上。患者さんの体に触れる器具だから、専門知識と技術を兼ね備えた専任スタッフが、安全に丁寧に、そして清潔に作業を行うのである。



① 洗浄・消毒・乾燥

メス、ピンセット、腹腔鏡などの医療器具を約1時間かけて洗浄・消毒・乾燥する。乾燥後は、傷が付いていないか、レンズが曇っていないかなどを、一つひとつ入念に目視点検する。

② 高圧蒸気滅菌機

点検後に密封した機器を135℃の高温、0.22MPa(メガパスカル)の高圧蒸気で1時間以上かけて滅菌する。出番まで滅菌した器材を保管し、適切な時間に手術室などの必要な部署まで正確に届ける。